

令和 2 年度 自死対策に関する実施事業
(健康部健康推進課および各総合支所保健福祉課)

1 庁内横断的な連携強化事業

目 的：「生きるための支援」につながる研修会の開催
 テーマ：「寄り添った聴き方とところと体のセルフケア」(オンラインによる研修)
 講 師：岩手医科大学 大塚耕太郎教授(精神科医師)
 対 象：市職員窓口対応者等
 日 程：11月12日 午後 ささえあいセンター 参加人数：98人

2 自死対策推進事業

① ゲートキーパー研修会

目 的：地域のゲートキーパーとなる人材を育成するため
 テーマ：「寄り添った聴き方とところと体のセルフケア」(オンラインによる研修)
 対 象：介護主任ケアマネジャー、
 日 程：11月12日 午前 ささえあいセンター
 参加人数：49人(密を避ける為、各事業所1名限定とした)
~~※12月3日(小中学校養護教諭及び教諭対象)~~
 学校養護教諭部会の判断で今年度は中止し、来年度に延期

② 心の相談

目 的：専門職(心理カウンセラー)の相談を通し、心の不調を軽減する
 回 数：本庁13回33人、河南5回9人、河北2回4人
 対 象：こころの悩みを持っている市民及びその家族

③ 聴き上手養成講座

目 的：聴き上手な市民を増やすため
 テーマ：「聴き上手になるために」講話及び実技
 講 師：みやぎ心のケアセンター 山崎副センター長、同センター桑島保健師
 対 象：一般市民、民生委員、保健推進員、理容師等
 日 程： 9月30日 【一般市民対象】 ささえあいセンター 47人
 10月21日 【河南地区、民生委員・保健推進員対象】 遊楽館 53人
 11月 9日 【理容組合員対象】 石巻合同庁舎 65人

④ 傾聴ボランティアによるサロン活動(5カ所)

目 的：地域で心の健康づくりを推進するため
 回 数：月1～2回
 協 力：からころステーション、地域包括支援センター等
 場 所：筒場復興住宅集会所・鹿妻地区集会所・寿楽荘・新蛇田第1集会所・市立病院
 ※新型コロナ感染拡大防止のため、中止していたが令和3年1月から新型コロナ感染症
 予防対策を講じて一部再開(3カ所)
 ※筒場復興住宅集会所・鹿妻地区集会所・寿楽荘

⑤ メンタルヘルス講演会 (コロナにより、テーマ及び横浜の医師から変更して開催)

目 的：コロナ禍でうつや不安を抱える方への啓発
 テーマ：「コロナ禍での不安への向き合い方」～心構えとストレスケア～
 講 師：原クリニック院長 原敬造医師
 対 象：一般市民、支援者等
 日 程：10月28日 ささえあいセンター 66人

⑥ 母子こころの健康づくり講演会

目的：母の心の安定と子どもの心を育むため（自己肯定感を高める。）

テーマ：「楽しい子育てのコツ」

講師：東北学院大学 平野幹雄教授（教育学博士・臨床発達心理士）

対象：育児中の母（保護者）託児あり

日程： 8月31日 一般市民 ささえあいセンター 33人

11月24日 一般市民 桃生公民館 18人

託児協力はファミリーサポート協力員、なかよし子育て支援センター職員、
桃生・河南子育て支援センター職員

⑦ 自死対策啓発活動

目的：全世代へ心の相談窓口の周知・啓発のため

内容：若者対策および被災者対策に取り組む

- 被災者対策：復興公営住宅入居者、防災集団移転居住者4,700世帯の被災者に対し、社会福祉協議会と連携して相談窓口記載の啓発うちわを配布（7月から9月）
- 全庁的な啓発：自死対策検討部会16課のほか、啓発を「実施」すると回答があった10課、6総合支所の窓口においてメッセージ入り「あなたのこころとからだ元気ですか？」啓発うちわを配布（7月から9月）
- 自殺予防週間（9月）：市内高校へメッセージ入り「一人で悩まず誰かに相談しよう」啓発グッズ（蛍光ペン・ボールペン）を500本配布
- 成人式：心の相談窓口記載のポケットティッシュを配布
- 自殺対策強化月間（3月）：図書館等での啓発活動を実施

⑧ アルコール関連問題スタッフ研修

目的：相談支援担当者がアルコール依存症やアルコール関連問題への理解を深め、当事者と家族の負担を軽減する家族支援の在り方を学ぶ

テーマ：「アルコール依存症とその治療について」、「これまでの体験談」

講師：東北会病院 奥平 富貴子 先生（精神科医）、当事者

対象：アルコール関連問題に関わる相談支援者

日程：1月20日 ささえあいセンター 27人

⑨ 支援者のサポート研修

目的：支援者自身が、一人で問題を抱え込まないように、専門職から助言を受け、支援者のスキルアップを図り、処遇困難ケースにも対応できるようにするため

テーマ：「ケース理解を深めるために」～ケース見立ての基本・面接時のコツ

講師：心理カウンセラー 今野 廣子 先生

対象：石巻市健康部及び福祉部、各総合支所保健福祉課の保健師等

日程：11月30日 ささえあいセンター 45人

3 被災者の健康支援（心のケア）

① 復興住宅入居者健康調査

目的：復興住宅入居者健康調査により、入居者の心の状態を把握し、必要な支援につなげる

対象：入居1か月後の訪問結果及び健康調査結果の要フォロー者で、抑うつ症状やアルコール関連問題等の心の問題を抱えている方

内容：保健師等による訪問等と専門機関へのコーディネート

② 被災者健康支援における関係者会議

目 的：復興住宅を中心とする被災者の切れ目のない支援と、生きるための包括的支援の実現を図るため、関係機関等と情報共有し課題・対策を検討する

対 象：健康調査に関わる関係機関・関係課等

内 容：各支援機関や関係課の取組みに関する情報共有及び被災者の健康支援等

日 程：令和2年11月4日 石巻市庁舎 20人

令和3年 3月1日 石巻市庁舎 21人

③ 被災者に対する自死対策の啓発

コロナ禍により、不安を抱えている被災者（復興住宅居住者及び防災集団移転居住者）に対し、4,700全世帯に相談電話先が掲載されている自死対策啓発うちわを配布。

※コロナ禍で不安があるとの被災者の声があり、自死対策事業として追加